

事業報告・決算など可決承認 令和元年第2回通常総会開催

令和元年7月31日、和歌山県自治会館で令和元年第2回通常総会が開催された。平成30年度事業報告並びに各会計決算等について審議され、議決事項15議案がいずれも可決承認された。

さらなる期待に 応えていく

開

会のあいさつに立った本会の中芝理事長は、

令和元年第2回通常総会

先の国会で可決・成立した改正健康保険法等において、オンライン資格確認の導入や、国保データベースシステムを活用した高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施、審査支払機関における公正・中立な審査といった審査の基本理念の創設、さらには、国保連合会業務にデータ分析事業等が追加されたことに触れ、これまで以上に国保連合会への期待が大きくなっていることに言及。その上で「審査支払業務のさらなる充実・強化をはじめ、各種共同事業や国保データベースシステム等を活用した保健事業などについても、これまで以上に積極的

に取り組むとともに、今年3月に取得した情報セキュリティマネジメントシステムを的確に運用し、情報資産の安全で適切な管理に引き続き努めていく」と決意を述べた。

15議案を可決承認

その後、議長に中芝岩出市長を選出し、議事に入った。

議決に先立ち、事務局から法定報告の提出が目前に迫っていることに加え、機器更改の設定作業等も控えていたことから、本会では引き続き保険者との連携を密にし、きめ細やかな対応をすることとシステムの安定運用に努める方針。



④ 開会のあいさつに立った中芝理事長

**システムの
機器更改に向けて**



⑤ 県下保険者から担当者53名が出席した

特 定健診・保健指導担当者研修会が令和元年8月30日に日赤会館会議室で開催された。研修会では、2年2月末より稼働を予定している特定健診等データ管理システム及び国保データベース(DB)システムの機器更改における今後のスケジュールや平成30年度特定健診等法定報告等について本会担当者から説明した。

法定報告の提出が目前に迫っていることに加え、機器更改の設定作業等も控えていたことから、本会では引き続き保険者との連携を密にし、きめ細やかな対応をすることとシステムの安定運用に努める方針。